

そよかぜだより

障害者自立支援法

柳沢大臣が見直しを示唆

十一月一日に開かれた衆院厚生労働委員会で、柳沢伯夫

厚生労働大臣は、民主党の園田議員の質問に答え、障害者自立支援法の見直しに向けた調査を行なうとともに、一定の見直しに取り組む考えを示しました。

質問の中で園田議員は、前日の十月三十一日に自立支援法の見直しを求め、全国から約一万五千人の障害者や家族などが集会を開いたことに触れ、「まだかつてこれだけの障害者が集まつたことはない。党利党則でなく、立法府の責任として一人ひとりの議員がその声をきちんと受けとめるべき」と指摘。参加者から正確な実態把握を求める声が多く出されたとし、全国規

模での実態調査を行なうこと

を求めました。

これに対し、柳沢大臣は、「すでに調査した都道府県については結果を公表しているが、公表していない都道府県については、現在調査の協力を依頼している。利用者負担

については減免措置などを十分講じているが、目こぼしをしているところがあれば、一定の見直しをしたい」などと見直しに向けた取り組みを行なう考えを示しました。

また園田議員は①減免措置

自民委がヒアリング

政府・自民党の障害者福祉委員会は、十一月一日、障害者自立支援法の見直しに向けた調査のための所得階層区分の細分化②就労支援策の拡充③障害程度区分の判定項目の見直し④事業者負担を軽減するための加算措置一などについて質問しました。

第 54 号
発行 2006. 11. 19
毎月 1 回発行
NPO 法人
障害者団体連絡会
そよかぜ

<http://www.mmj.jp.or.jp/soyokaze/>
連絡先
ひばり園 578-0855
FAX 578-0466
くれよん 578-2575
つくしの家 578-0855
あおぞら 570-6110
(お問い合わせ)
資源回収時のご連絡は「ひばり園」へ

ご協力ありがとうございました。	（順不同）	18年4月	10月	募合	金計
とまと宮沢宇久松榎清松長尾又角野帶山下野濱エイ大川阿部下田渡辺	美容室啓牧国正キ竹ヨ子恭孝子進克子進枝岬アイ郁子コウ四郎英希	白井北野ト・クルサ高木牧国正キ竹ヨ子恭孝子進克子進枝岬アイ郁子コウ四郎英希	信浩美東子典有元勝誠隆賢知宏六亜孝勝利達理英希	田村竹天川関典子雄一章子	中野内満井谷岡澤影野吉山吉永田田村田間中野アーバンバンディックス
（2,870円）	（2,870円）	（2,870円）	（2,870円）	（2,870円）	（2,870円）

羽村市内の小学校と中学校の生徒のみなさんが、各学校単位でブルトップ収集にご協力して下さっています。ありがとうございます。

NPO法人 そよかぜ の 《資源回収》に

ご協力をお願いします
新聞、雑誌、ダンボール

（ボロは扱っていません）

この収益は「つくしの家」の運営資金になります。
10月は 26.405t でした。金額は 324,793 円となりました。
皆様のご協力有難うございました。

12月は第3日曜日 17 日です。

大雨等の場合は、次週の日曜日に順延します。

を拡充するための所得階層区分の細分化②就労支援策の拡充③障害程度区分の判定項目の見直し④事業者負担を軽減するための加算措置一などについて質問しました。

ご連絡は、ひばり園へ
羽村市五ノ神 2-6-7
042-578-0855

くれよん 10月の売上
1,064,630円

広汎性発達障害者・ショッキングな二つの事件
障害が危険なのではありません

現代社会の落し子・想像力の衰退は普通の人も同じ

一〇月一九日の新聞に「十八歳少年、懲役十二年」という大きな見出しの記事が掲載されました。記事には、昨年二月、大阪府寝屋川市の小学で教職員三人が殺傷された事件で、殺人の罪に問われた少年の判決があり、大阪地裁は、少年が広汎（こうはん）性発達障害の特徴である物事に固執してしまう状況になり事件を起こしたと認定、とあります。そして広汎性発達障害の説明として、自閉症、アスペルガー症候群、特定不能型など発達障害の総称。対人関係をうまく築けない、限られた対象に執着するなどの症状があると説明しています。

この記事が出てから一週間後の十月二十六日、一面のトップ記事に大見出いで「奈良放火殺人、十六歳長男保護処分」という記事が出ました。今年六月、奈良県の医師宅が全焼し、母子三人が死亡し

た事件で、放火の罪に問われた長男に刑事処分をせず、少ないう内容です。その理由として、精神鑑定は、犯行時

の長男について、自分の興味をもつたという内容です。その理由として、精神鑑定は、犯行時

・関心に集中する「広汎性発達障害」に、幼少時からの父親の暴力による抑うつが重なった状態と診断。もともと有していた障害の症状がうつに

より強まり、父親から逃げる

こと以外に注意が向けられな

かったと指摘した。障害の影響で「家を燃やすこと」のみに意識が集中していたとし、「殺意はなかつた、あつても薄かつた」と保護処分になりました。

この二つの事件は大変ショッキングなものだけに新聞が大きく取り上げるのも無理のないことです。記事を読まれた一般の人は、広汎性発達障害者はとんでもない犯罪を犯す危険な人達だと思うのでは

ないでしようか。しかし、それは大きな誤解です。誤解を防ぐために発達障害について簡単に説明します。

昨年の三月に発達障害者支援法が国会で成立し、それ以来、広汎性発達障害のことを一般には発達障害というようになりました。発達障害は、知的障害でもなく身体障害でもなく精神障害でもありません。したがって今までの法律では障害者の中に入らなかつたのです。知的障害者は一般人口一千人に三人(〇・三%)といわれていますが、ごく最近の調査では、発達障害者は百人に一人(一%)と大変多いことがわかりました。

そのため政府は、このままにしておけないとあわてて新しい法律を作りました。

ひばり園にも、ひと目でそれとわかる人が何人もきました。『私はアスペルガー症候群です』と自分から言つてきた人がいました。その人は、英語はペラペラ、数学は大学生を指導できるほどの実力ですから、知能は私などよりはるかに上です。しかし人間関係がうまくできなくて、就職

状態となつて行く所がなくなつると、ひばり園にきます。発達障害者の特徴は、人間関係がうまく築けないとか特定のものごとにこだわるとか云われますが、基本にあるのは想像力の障害です。想像力とは、目に見えないものを思ふ力で、浮かべる能力のことです。私たち生きて目覚めている限り、いたるところで無意識のうちに想像力を働かせていてます。まだ見ぬ明日に、あるいは未来に向けて、今の行動を決めるのは想像力の働きです。

相手の気持ちを想像することができなければ、人間関係はうまくいきません。先のことを考える力が弱いと、行動は体験したことを繰り返すようになり、反復的で変化を最小限に保ち、こだわりになります。五ヵ国語をマスターして翻訳の仕事をしている発達障害の人に、なぜそんなに語学が得意なのか聞いたら「反復練習が好きだから」と答えたそうです。

ではなぜ、近年になつて急に発達障害のことがクローズ

アップされてきたのでしょうか。しかもその数がどんどん増え続けているのはなぜでしょうか。

人間の感覚は時代とともに大きく変わってきています。昔の人々は音やにおいや手触りで周囲の気配を感じ、口から耳への声による情報に耳を傾けてきました。印刷術の登場で情報は文字により目から入るようになりました。テレビやパソコンの普及により、見える情報は飛躍的に増えました。見える情報や出来事を追いかることに追われているうちに、見えないものについて考える力が弱くなりました。だから他人の苦痛や痛みに対する感覚も希薄になっています。

情報があふれる現代社会では個人がすべての情報を知り理解することは不可能です。そのため特定の部分だけに強い専門家は多く育ちますが、逆に全体像が見えにくくなっています。ものごとの裏側にある隠された真実を知ろうと

する哲学的な学問は衰退しています。大学では、人間に一番大切な一般教養が粗末にされ、就職に有利な技術だけが習得されます。高校の必修漏れの問題もこれと同じ現象でしょう。

想像する力が衰えているのが現代人だとすれば、障害があるなしにかかわらず、現代人はみんな発達障害的な感覚を持つているわけです。インターネットの爆発的な普及によつて、すべての人がパソコンで情報を交換するようになれば、その傾向はますます強くなるでしょう。そうなれば普通の人と発達障害者との境界はさらにあいまいになります。発達障害者は現代社会の落し子です。

発達障害者が犯罪を犯すことはあります。しかしその発生率は一般の人となんら変わりません。普通の人の中にも犯罪を犯す人はいます。発達障害者が危険だとすれば、同じように普通の人も危険なのです。今後は、ひばり園にも発達障害の人は多くなるでしょう。どうか特別視しないようにお願いします。